

令和 2 年度第 1 回村上市地球温暖化対策地域協議会の主な意見

1. 開催日時 令和 2 年 12 月 18 日(金) 午後 2 時～午後 3 時 30 分
2. 開催場所 村上市ふれあいセンター 2 階研修室
3. 主な意見 下記のとおり

| 番号 | 論点 | 意見 |
|----|--------------------|--|
| 1 | 村上市地球温暖化対策実行計画について | 大きな流れとして長期目標を立てるのであれば、もっと挑戦的な大きい目標を立ててはどうでしょうか。現状国や県主導の事業であります。洋上風力が導入されれば、もっと大きな効果が期待できると考えます。 |
| 2 | | 市民にしっかり伝わるような再生可能エネルギー関連の普及啓発・イベント等を企画してもらいたいです。 |
| 3 | | 多くの計画策定に携わっていますが、理想論になっていて進まなくなっている計画も多くあります。計画内では PDCA の重要性を述べられ、毎年度進捗評価をすることとなっておりますが、目標に対してそれをどのように満たしていくのかは具体的を示したほうがよいと考えます。 例えば、温室効果ガス排出量は具体的にどの部門でどの位削減可能なのか、各部門での落とし込みが必要です。コストや時間の制限はありますが、具体的な数字を示した施策にしなければ、PDCA を回す意味がなくなってしまうと思います。全ての施策において具体的な施策を設定するのは難しいため、目玉となるような施策の組み合わせをご検討願います。 |

| | | |
|---|---------------------------|---|
| 4 | 村上市・胎内市沖における洋上風力発電の現況について | <p>次時代に再生可能エネルギーや水素が必要となることは理解していますが、洋上風力発電は海を損なうやり方であると感じます。風車設置により日の当たり方が変わり、サケの成長にも影響あるのではないかと心配しています。できれば浮体式にして沖に設置する方法を希望します。</p> <p>県の研究会が示しているフォトモンタージュでは1基しか表現されておらず、実際の50基を並べたら見え方が変わると思います。</p> |
| 5 | | <p>先日、2050年までにカーボンニュートラルにするという国の方針が示され、その柱の一つに洋上風力が位置付けられました。</p> <p>今後、国の方針が大きく洋上風力の推進へ向かっていくと感じていますが、それに伴い、それぞれの地域の意見は重要であり、議論を充実させるべきと考えます。</p> |
| 6 | | <p>地域ごとの意見を大事にしながら議論をするべきで、賛成反対ではないと、私も認識しています。再生可能エネルギーの導入が国家戦略として推進される中で、地域資源をどのように守るかなど、進め方に英知を絞る必要があります。</p> <p>また、フォトモンタージュを市民への説明の資料とするのならば、現実的な配置を踏まえたものにする必要があるかと思えます。</p> |
| 7 | | <p>事業想定エリアは漁業関係者にとって重要な問題です。村上の漁業関係者は、3海里の範囲内の浅瀬でない海域であれば賛成します。沖合に設置して欲しいという意見は多く聞きますが、3海里を超えると新潟県以外の漁業者が関わるため地元漁業者の合意だけで決めることは出来なくなります。</p> |
| 8 | 地球温暖化対策の推進について | <p>市民全員で地球温暖化を防ぐためには、市民に分かりやすい形で示す、市民との話し合いの場をもつなど、市民と市が一緒になって進めていく必要があると思います。</p> |